

太陽光が肌に与える影響

着目

太陽光の中には、肌に良い影響を与える「赤色光」が存在



紫外線・近赤外線

紫外線 (UV-B) 乾燥・糖化
シミ・ソバカスを引き起こす

紫外線 (UV-A)

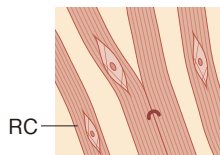
真皮上層のコラーゲン構造を壊し、
シワ・たるみを引き起こす

近赤外線

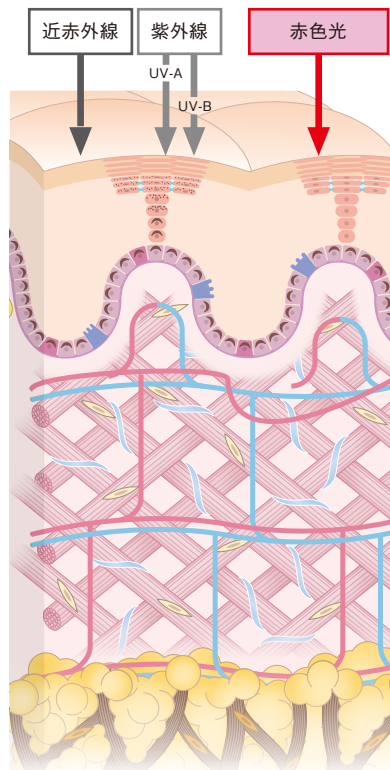
- 真皮下層のコラーゲン構造を壊し、
シワ・たるみを引き起こす
- 線維芽細胞の減少
- 真皮の水分不足

近赤外線

RC構造を壊す



細く脆弱な RC へ



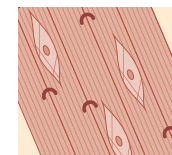
赤色光

うるおい阻害物質の発生を抑制し、
保水能力を高める

線維芽細胞のエネルギー産生量を高め、
ハリ・弾力を生み出す

新発見 線維芽細胞が生み出すハリ肌因子
「レプチン」を増やす

RC構造を強化



太く強固な RC へ

赤色光の働き

新発見

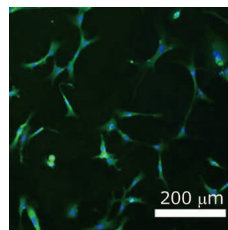
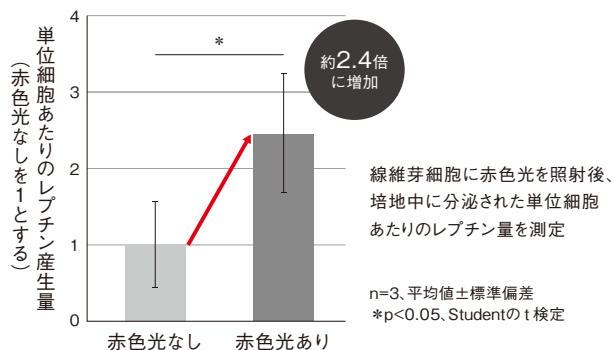
「赤色光」は、線維芽細胞が生み出すハリ肌因子「レプチン」を増やすことができる

B.Aリサーチセンターは、赤色光は線維芽細胞が生み出すハリ肌因子「レプチン」を増やすことができるということを新たに発見。レプチンの血中濃度は睡眠時間が減ると下がるため、**睡眠不足に陥りがちな現代人の生活ではレプチンの量が少ない可能性がある**と考えられます。

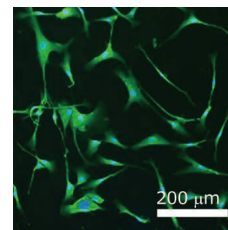
レプチンとは

- ・紫外線によるコラーゲン分解を抑えるなどの作用があり、ハリ・弾力を守り美肌にも関与している
- ・睡眠中である夜間に血中濃度が高まり、日中は低下する
- ・睡眠時間が減ると血中濃度が低下する

赤色光によって、線維芽細胞が生み出すレプチンが増加



赤色光なし



赤色光あり

青:細胞核
緑:レプチン

(代表例)

線維芽細胞に赤色光を照射後、
細胞中のレプチンを免疫染色により確認

(B.Aリサーチセンター調べ)

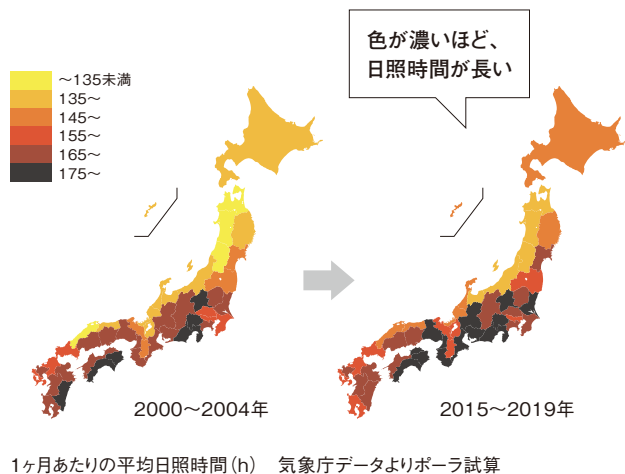
睡眠がもたらす美肌効果

- 成長ホルモンの分泌でターンオーバー促進
- 皮下組織の水分を保ち、肌にハリやうるおいを与える
- 睡眠中にレプチンが産生され、線維芽細胞でのコラーゲンが産生される

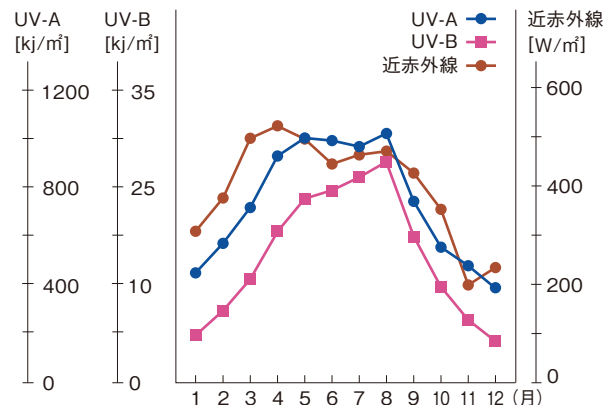
太陽光ケアの必要性

年間を通じたケアが、肌の美しさの鍵

年間日照時間は年々増加傾向。



UV-B・UV-A・近赤外線は3月から急激に増加しはじめ、10月まで高い状態。



太陽光はもちろん、室内の光にも赤色光が！

平日はオフィス勤務などで外にあまり出ないという方も増えていますが、蛍光灯をはじめとした白い光にも赤色光が含まれています。



白い光は赤・青・緑の3色の光が重なって白く見えています。(光の3原色)
そのため、日中、オフィスなどで浴びる白い光にも赤色光が含まれています。